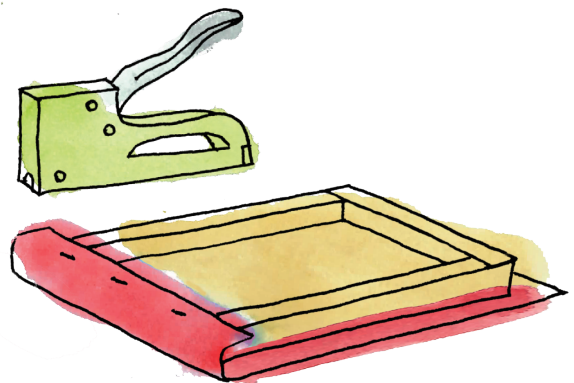
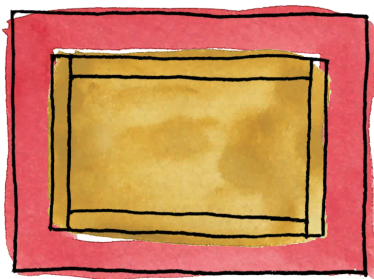


木製パネルへの加工方法 初級編

[水性染料インクによるプリント向き]

染料インクでプリントした紙は、濡れると印刷が滲んでしまいますので、水糊を使わない方法でパネル加工をお楽しみ下さい

※お勧めの用紙：楮（厚口）・楮二層紙

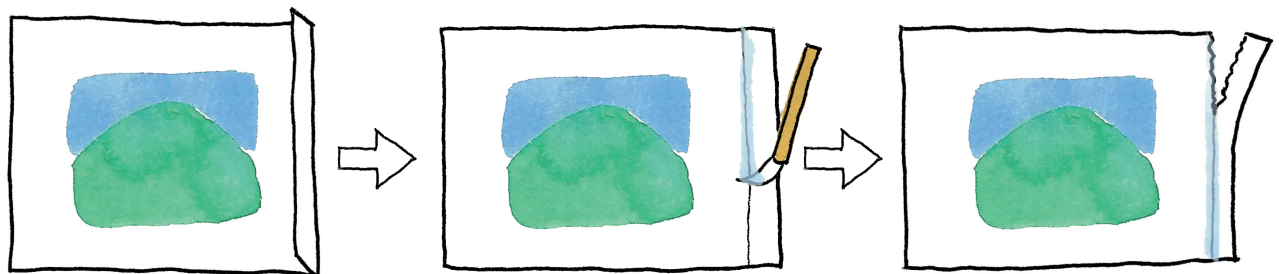


- 1) 新しいんべ 中厚口をパネルのサイズに合わせてカットし、紙の中央にパネルを配置します。巻きこんだ後の紙の余白部分をあらかじめ想定して、余分すぎる部分はカットしておきます。

*新しいんべは退色しにくい顔料をベースに染色しています。

- 2) ガンタッカーまたはホチキスで、新しいんべ紙をパネルに留めていきます。たるみが出ないように、角をしっかりと押さえ込みながら丁寧に巻き込んで下さい。

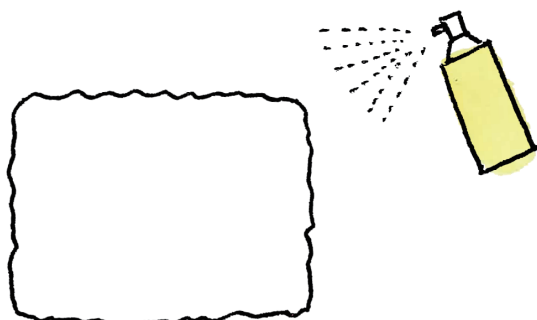
*パネルが大きい場合は水貼りをした方がたわみが少なくきれいに仕上がります。その場合は、パネルをあらかじめ水拭きしてアク抜きをして下さい。



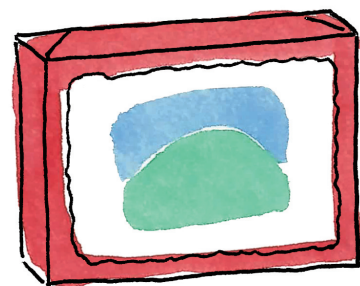
- 3) パネルの大きさより一回り小さく、AIJP に作品をプリントし、余白を約 1~1.5cm 残して四方を水切りをします。

【水切り】手千切りで、擬似的な“耳、”を作る方法

- 耳を作りたいところを折って筋を入れ、折れ線部分を水を含ませた筆でなぞります。
- 湿ってふやけた所で、左右に引っ張るように裂くことで、毛羽が出て“耳、風の切り口”となります。



- 4) 水切りをした作品の裏にスプレー糊を吹き付けます。



完成!

- 5) 新しいんべを貼ったパネルの中央部分に作品を貼ります。

